

福井支部ニュース

2022年度 第12号

日本科学者会議福井支部

連絡先: 山本雅彦、masahiko@mbp.nifty.com

郵便振込口座番号 00710-9-17967 日本科学者会議福井支部

支部ホームページ <https://jsafukui.net/>

科学者会議本部 <http://www.jsa.gr.jp/>

今号の内容

◆ 2022年度 JSA 福井支部 第7回幹事会の概要報告 (山根 清志)

◆ 『福井の科学者』 福井支部結成 50 周年記念特大号 原稿募集

[2022年度 JSA 福井支部 第7回幹事会の概要報告]

暦で啓蟄の日にあたる3月6日の夕刻～夜、JSA福井支部第7回幹事会がオンライン方式で開催された。

会議冒頭、去る2月17日、享年75歳にして脳梗塞で急逝された林庄司幹事(元福井大学工学部技術部)の死を出席者全員で悼んだ後、議題の審議に入った。

1、JSA北陸地区シンポについて。2月20日に北陸3支部事務局長会議がオンライン形式で開催され、その場で、今期の北陸シンポ開催中止が最終的に決まったことが報告された。

2、支部例会について。

(1) 科学者の権利問題

当例会は1月23日(月)午後6時からオンラインで開催された。その高木秀男幹事による報告に関わって、丹生淳郷氏(埼玉支部・科学者の権利問題委員会)にたいし、支部ニュースへの投稿をメールで山本事務局長

より依頼してあるが、未だ返事が無く待っている状況である、との報告がなされた。

(2) 原発問題「市民公開講座」

当例会は2月25日(土)午後2時から、対面とオンラインとの併用で開催した。会場はフェニックスプラザ4階会議室。

- 「原発問題」をテーマに、岸田政権の原発回帰政策に反対する市民講座として、小野氏司会のもと、山本富士夫代表幹事、笠原一浩弁護士から各30分報告してもらい、その後、参加者と討論をおこなった。報告は分かり易かったとの感想。
- 当日、フェニックスプラザへの来場者は約20名、Zoomによる参加者は20名。
- 原発問題「市民公開講座」の名において参加者声明を提出したらいかがかとの、小野氏の提案に関しては、遺憾ながら十分な対応できず。小野氏の宣言案を継続審議とすることとなった。
- 今回の「市民公開講座」とそこでの討論を承けて、3月2日、オール福井反原発連絡会として、杉本福井県知事に申し入れを行った。
- 会場費は、¥9,150円を支払った。

(3) 「大学の自治と学問の自由」と学術会議問題

2つの問題を合わせての例会の具体化。講演者の案は、北海道支部の光本滋先生に依頼し、快諾を得た。(中嶋哲彦氏には、日程が決まり次第、正式に参加要請をする。)

- 光本先生に、主に岸田政権の暴走政治について、「学問の自由」と科学技術イノベーション批判について話してもらうことで快諾を得ている。
- 光本先生の日程の提案を納れて、開催日時を4月28日(金)18:00～、オンラインで、と決定。

(4) 以下の、継続審議としている2つの問題についての支部例会としての取り扱い

◎核共有…アメリカ合衆国と約束をしている問題について

緊急性のある問題を優先したため、前々回の幹事会以降継続審議とし

てきている。

◎政府のデジタル化政策と現場教育…報告予定者に発生した困難事情の故にペンディングとする。

3、結成 50 周年記念事業の第 1 回実行委員会(第 7 回幹事会)について。

高木実行委員会座長のリードのもと、第 1 回実行委員会での議論がすすめられた。議論の落ち着いたところはおおよそ以下のようなことであっただろうか。一つには、本年 12 月に「福井の科学者」50 周年記念特集号を出す。二つには、その特集号を構成する内 容であるが、

(Ⅰ) 運動に関係した比較的大きなテーマ：例えば、原発問題、福井工大問題、中池見湿地保存運動、福井の教育、2.11 を始めとする民主主義のための運動、等々。そして、それぞれのテーマについて相応しいと思える方に執筆を依頼する。

(Ⅱ) 結成 50 年にあたっての会員個々の思いを短文で綴ってもらう。

なお、支部ニュースに 50 周年記念事業について記事をのせ、呼びかけとともに知恵も出してもらう(他の大テーマがあれば挙げてもらう)。

4、「福井の科学者」と支部HPについて。

- ・HPに掲載の件はバックナンバーも見られるように修復が完了した。
- ・支部ニュースは現在、第 10 号のみが閲覧可能で、今後、1 号から 9 号までと 11 号を、続いて過去の支部ニュースの順に閲覧可能にしていく予定である。
- ・小倉幹事の論文「COVID-19 パンデミック下の『デジタル後進国』日本の深層」が、『日本の科学者』2023 年 3 月号に掲載された。

5、支部ニュースについて。

小倉幹事が体調不良で欠席のゆえ、第 12 号をどうするかをはじめとして、当日の議論は深まらなかった。

6、支部財政と会員拡大について。

伊藤幹事から、新入会員と物故者により現在の会員数が何人であるか、会費完納者と未納者とのうちわけ、予算執行状況等について説明があった。

7、役員選考ワーキング・グループ(WG)からの連絡について、8、第 2 回支部事務局交流会 2 月 21 日(火) 19:00~21:00 について、9、第 3 回支部事務局長・事務局関係者交流会については、実質的審議なし。併せて、11、その他についても、実質的審議はなかった。

10、「第 12 回 3.11 さよなら原発福井県集会 in ふくい」について。

いよいよ開催日が迫ってきたこともあり、実行委員会共同代表でもある山本代表幹事から、改めてプログラムの説明やカンパ要請の訴えがなされた。

最後に、次回の幹事会と支部総会の日程について諮られた。

・次回幹事会：2023 年 4 月 3 日(月) 18:00~。

なお、4 月下旬にもう 1 度幹事会を開催する。

・支部総会の日程：2023 年 5 月 13 日(土)午後 2:00~、於：体育館、対面でおこなうこととなった。

会議終了は午後 8 時 20 分、参加幹事は 9 名であった。(山根 清志)

支部ニュースへの寄稿・投稿を

支部ニュースを支部会員間の交流の場とするため、積極的な寄稿・投稿をお願いします。

◆ジャーナル評論：「日本の科学者」「福井の科学者」の評論

◆時事評論、意見・見解

◆活動報告・経験報告・事例紹介

◆行事案内、会員への案内・お知らせ

◆その他、エッセー、書評、文芸作品の紹介など、何でも支部ニュース担当者までメールでお送り下さい。

yamane@f-edu.u-fukui.ac.jp

ogura@u-fukui.ac.jp

『福井の科学者』 福井支部結成 50 周年記念特大号 原稿募集

『福井の科学者』の次号を、「福井支部結成 50 周年記念特大号」として今年の 12 月に発行することが支部幹事会で決まりましたので、原稿を広く募集します。支部会員の皆様の大きな協力を得なければ企画は成功しません。どうか皆様のお力をお貸し下さい。

かつて福井支部では、支部結成 5 周年記念事業としてゆきのした文化協会と協力して『父と子の原発ノート』（1978 年）を出版し、10 周年記念事業として『地域を見直す』（1984 年）と『福井の科学者』30 号（福井支部結成 10 周年記念特大号）（1981 年）を刊行しました。そして 15 周年記念事業として『地域を考える』（1990 年）を出版し、1993 年には冊子『日本科学者会議福井支部 20 年の歩み』を発行しました。しかし、それ以降は残念ながら、記念事業は行なわれていません。福井支部も結成以来 50 年の節目を過ぎたということで、今回の企画が決定されました。

会員それぞれが取り組んできた記憶に残っている活動を、記録に残す気持ちでご協力をお願いします。誌面は、今のところ 50 年間の主な支部活動を総論的に紹介するもの、原発問題、教育問題、環境問題、北陸地区シンポ、出版活動、支部例会・公開講座、まちづくり・地域問題、2.11 集会、学問の自由と科学者の権利など、特に力を注いできた問題別の原稿、会員・読者からの支部活動に対する自由な意見・提言、『福井の科学者』総目次などの資料を載せたいと考えていますが、編集についても『福井の科学者』30 号、冊子『日本科学者会議福井支部 20 年の歩み』なども参考にしながら、積極的な意見を寄せていただければと思います。

発行は今年の 12 月を予定していますので、原稿締め切りは 11 月 10 日頃を考えています。是非この企画に対する意見、原稿を下記宛てにお寄せ下さい。

高木秀男 （fwnf2030@nifty.com）

2023 年前期の会費納入をお願いします

新しい年が始まりました。今年前期の会費をお願いします。
また、過去の未納会費のある方は、分納でも結構ですので、至急納入をお願いします。

＜＜編集後記＞＞

福井支部ニュースの第 12 号をお届けします。

今号の支部ニュースは、先日の支部幹事会報告と、「福井の科学者」50 周年記念特大号の案内を掲載しています。

なお、編集担当者（小倉）の急な体調不良と回復が厳しいため、編集作業が滞り、ご迷惑をおかけしています。ご容赦ください。

支部会員各位のご健勝を願うとともに、今後とも支部会員各位の支部ニュースへの寄稿をお願いします。
(OG)